

# 第2期 BCP策定指導講座始まる

**3社が参加。** (株)丸和運輸機関  
**(株)サイゼリヤ、東京日野自動車(株)**  
**7月17日(金)から開講**



講師 辻田 満氏



## 3社中2社が

## BCP対象リスクに

## 新型インフルエンザ

## を希望

平成21年度教育情報事業の一つである「BCP策定指導講座」が7月17日(実施時期7月〜3月)スタートしました。

今年度は3社が受講されていますが、そのうち2社は事業継続計画(BCP)の対象とするリスクに新型インフルエンザを希望しています。

そこで、本誌では新型インフルエンザについての現状の見解を述べたいと思います。懸念されていた新型インフルエンザが、世界的規模で流行しはじめました。この新しい形の危機に臨んで、企業は事業継続計画(BCP)の観点からの対応策が今後強く求められてくることになると思います。政府は感染規模に合わせた行動計画に従った対応をすることになって来ます。し

かし、企業に対しては、初期の封じ込めの段階以外は、とるべき行動と判断は実質的には企業に任されているのが実態です。そこで、今後起こるべき問題は、企業側の対応の準備不足による混乱です。各業界でも、まさに対応を考え始めたばかりです。

たとえば、社会機能維持を担う企業においても、依存先であるサプライチェーンの事業継続計画がまだできていない場合が多く、その取引先が活動を止めてしまうケースが予想されます。また、中小企業などで、協力的にまじめに操業目録をする企業が、この不況下でもあり、倒産の危機などに直面する可能性があります。

さらに、社会機能維持を担う病院、運輸等の従事者たちが、感染・死亡した場合の補償について対策を要望していますが、労災適用の可能性程度しかまだ報道されていません。したがって、これらの人たちが、補償の不安の中できちんと働いていただけるか、懸念もあります。今回のケースは弱毒性と言

ことから、政府も企業側の対応も強毒性の鳥インフルエンザとは変わる部分があると思いますが、感染力の高さや、適切な治療をしなければ命にかかわる点などから、深刻な問題であることに変わりはありません。今後、今回の新型インフルエンザの経緯を踏まえて大いに懸念される強毒性の鳥インフルエンザに対して企業は本格的な事業継続計画(BCP)の策定が必須となってくるでしょう。

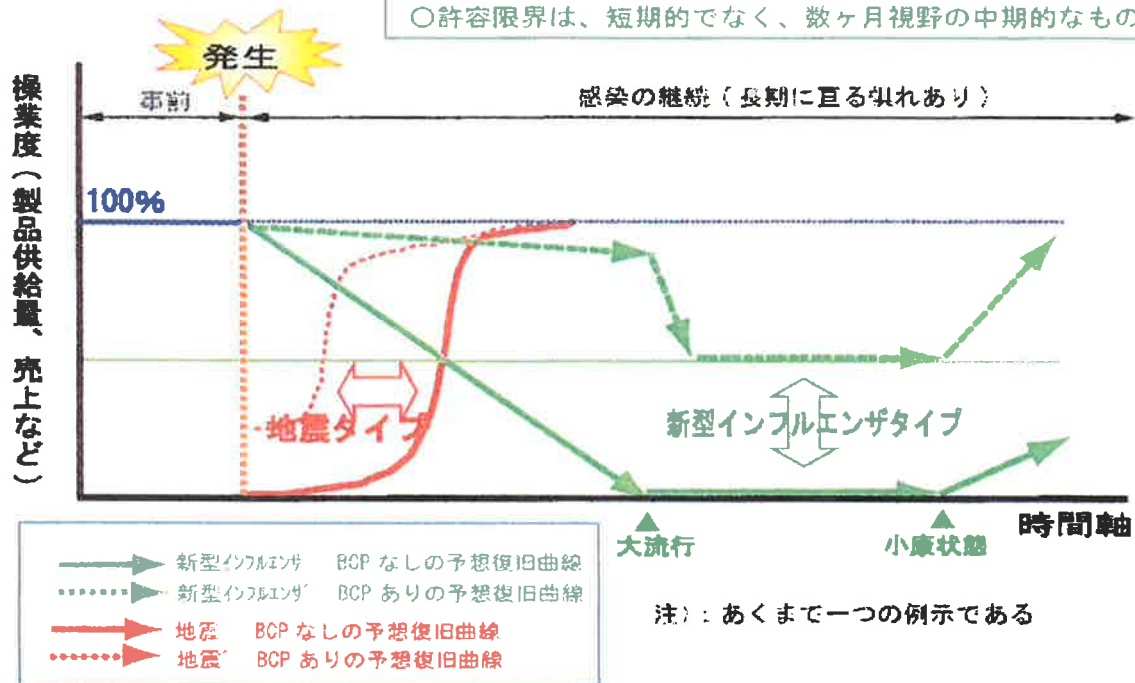
(NPO法人) ネットワーク  
 代表理事 辻田 満

(引用：平成21年3月6日「事業継続をめぐる 国内の最新動向」NPO法人 事業継続推進機構 理事長 丸谷 浩明

◎次頁に「新型インフルエンザの復旧曲線図」を掲載しました

## 新型インフルエンザの復旧曲線のイメージ

- 操業度は徐々に下がる・ある時期に急に下がるなど様々
- 許容限界は、短期的でなく、数ヶ月視野の中期的なもの



### 新型インフルエンザの予防と対策は、本当に万全ですか？

#### DVDの貸出不要の回答企業が10数社

先般6月に「新型インフルエンザ」に関するDVDの貸出の希望有無をアンケートにてお問い合わせをしましたが、10数社の方が希望しないとの回答がきて驚いています。

この秋から冬にかけて大流行が予想されており、一説によれば15%~45%の感染が予測されるとも云われています。本当に対策は万全ですか？

●再考いただき、貸出のご希望の方は電話にてお申し出ください。TEL991-1600

### これだけは知っておきたい新型インフルエンザの予防と対策

あまり知られていないインフルエンザの基礎知識や基本的な予防法をわかりやすく解説しているので、インフルエンザに関する意識・知識を効果的に理解することができます。

発生する可能性があるといわれる新型インフルエンザのパンデミック(急速な大流行)。しかし、その正確な実態は誰にも予測ができません。企業の事業継続や行政サービスの継続にも大きな影響を与えると考えられている中でもっとも大切なのは、社員一人ひとりが「かからない、うつさない」ための正確な知識を得て、準備することです。

このビデオでは従来型インフルエンザの予防法をもとに、「手洗いとうがい」や「せきエチケット」などの個人が知っておきたい新型インフルエンザの知識と予防策とを解説します。



#### 内容

- ・ 新型インフルエンザとは
- ・ 新型インフルエンザの大流行とは
- ・ 「かからないうつさない」ために
- ・ 大流行が起こったらどうするか？
- ・ いま、何を準備しておけばいいのか